



あせらず落ち着いて学び 笑顔でつながり 頑張らずに成長する 正しい判断力を持った勇気のある子どもの育成

【今回の学校だよりは、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。】

モーニングイングリッシュを小学校1年生も張り切って実践しています！！ちりも積もれば山となる（5分のモーニングイングリッシュが英語力となる）トータル100時間の英語力に激変☆≡↑

①



私が、前任校で勇気をもって全校に実践できなかったことがあります。それ

が現在、伊岐須小学校で実践されているのが8時25分から30分までのモーニングイングリッシュなのです。たった5分間の実践ですが、勇気をもってできなかったのです。

②



私の記憶が正しければ平成26年から平成30年に伊岐須小で校長職としてご活躍されていた、垂水陽子校長先生が実践のスタートではなかったでしょうか。垂水陽子校長先生は、中学校の英語の先生？ていらっしゃいましたので、25年たった今も伊岐須小から片島小などを経て飯塚市内の学校に広がっています。

事実、二瀬中学校さんの1年生（自慢の卒業生：朝の挨拶も素晴らしい）の令和8年度4月実施のフクト（株）標準学力分析検査の結果で、1年生の皆さんの英語科の得点は、なんと福岡県平均指数を100として、指数110に迫るほど

抜群に超えているのです。飯塚市内では2校が突破していてそのうちの1校が二瀬中学校さんなのです。

なお、写真①は本校伊岐須小1年生のモーニングイングリッシュ6月は「動物編」を楽しく発声しているようです。

わずかな時間でも $5分 \times 約200日 \times 6年間 \div 60分 = 100時間$

③



前ページの写真②はイギリス人のご夫婦に地球規模的（グローバル）で気さくに（フレンドリー）で誠実（オネスティ）な態度で話しかける6年生のみなさんです。（修学旅行：平和公園2026. 6. 15 Sunday）とても素敵でした。写真③はモーニングイングリッシュを流してくださった5年生の放送委員会の皆さんです。

子ども達に、この衝撃的なデータを事実として知らせる責務がございます。本校各学年（グレード）の担任の先生方からこの事実はお伝えいただく予定でございます。伊岐須小と二瀬中のお子さんは素晴らしいです。（テトルでは発生としておりました。発声の誤りです。）

朝の運動の4つの効果

6年生が振替休日でいなくて寂しい朝でしたがしばらくすると元気に下級生がサッカー等で仲良く遊んでいました。



① 脂肪燃焼・代謝アップ

朝は体内の糖質が少なく、脂肪がエネルギーとして使われやすい状態です。

② 集中力・脳の覚醒

運動によって血流が促進され、脳内のエンドルフィンやセロトニンが分泌されるため、気分が高揚し、仕事や勉強の効率が向上します

③ 睡眠リズムの改善

朝に運動することで体内時計がリセットされ、夜の寝付きが良くなる効果があります。早起きの習慣づくりにもつながります

④ 心血管・健康維持

継続的な朝の有酸素運動は血圧を下げ、心肺機能を強化し、生活習慣病の予防にも役立ちます。以上の朝の運動の効果を、九州栄養大学の脇田哲郎教授に直々に松尾史朗本人に価値づけをいただきましたので、現在特別支援学級の「なかよし1～5組」さんでは火曜日と金曜日の伊岐須小タイム時に体育館で朝スポーツを私と7人の先生方と合同で実践中でございます。